

常なる磐

つねなる いわ seasonⅢ

令和 4年 12月 16日(金)
その2 通算 289号

◇ 正しく きたえる 身とところ④「かけ足訓練・マラソン大会」

まずは、中学年（3年生：5名・4年生：10名）15名の目立たない記録から。

◆ 3年生(5人)のマラソンレース結果(タイム)

1位	Kさん	4分50秒(男子)
2位	Tさん	4分56秒(男子)
3位	Hさん	5分05秒(男子)
4位	Sさん	5分07秒(男子)
5位	Cさん	5分28秒(女子)

17秒 (Hさん, Sさん)
38秒 (Tさん)

3年生5名の記録に視点を当てると、17秒の中で4人が競り合うハイレベルな争いが見えてきた。

これは、**Hさん**と**Sさん**が急速に成長したことによるもの。

4年生を含めた15名の総合順位では、3年生が**④・⑤・⑥・⑧・⑪**位とこれまた大健闘&大接戦。また、3年生では5位の**Cさん**であるが、中学年の順位では、4年生で優勝したEさんに次ぐ女子2位の好記録。3年生の今後が楽しみだ。

それから、**Hさん**は5位→4位→3位と毎年順位を上げている。2年後は…。

さて、今年も白熱 **高学年（5・6年生）レース**に話題を移そう。



高学年レースは18人と大所帯。よって5名ずつ4列でのスタート。スタート位置は試走タイムで決まる。

注目したいのが**赤帽の5年男子**。**上位タイム5名のうち3名**を占めた。

注目すべきは、試走タイム2位の**Chiさん**。今年は、かけ足訓練後の放課も自主的に練習を重ねていたChiさん。意気込みは例年以上だ。

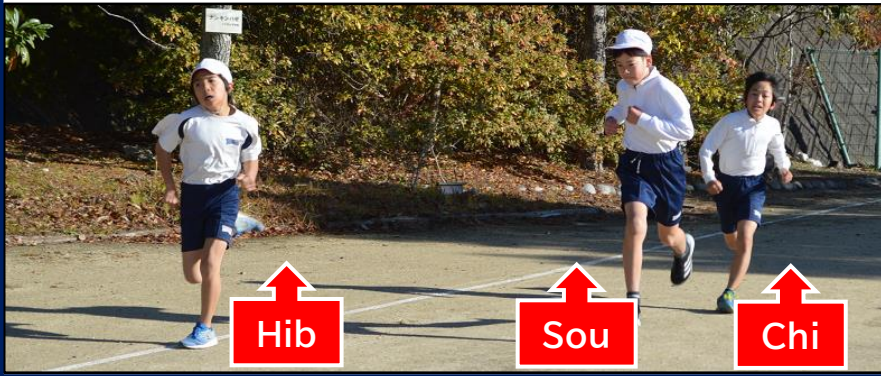
じつりょくはくちゅう
実力伯仲のライバルたちも、負けてはいない。何と言っても5年生男子は、現在4連覇中で、5年連続優勝をねらう**Souさん**もいる。→→→



平成30年 1年生(現5年生) ゴール

息をのんだ去年のレースを思い出す。校外コースから学校に戻ってきたときは3人が横並び状態。**Hibさん**を先頭に3mの距離に3人がひしめき合う大接戦。

令和3年 4年生(現5年生)レース



最後に抜け出したのは Sou さん。2人も粘ったが、本当に紙一重の勝負だった。さて、高学年（5・6年生）レースに話を戻そう。



スタート直後の内周コースで大きく抜け出したのは、Chi さん。

大胆な戦法は、意気込みの表れ。そして、6年生 Kou さんの抑え目スタートは、市陸上大会での学び。いずれも成長の跡であり証だ。



母親たちも、声援とカメラで応援。力に変わる2/3 地点は最も苦しい勝負所。→→→→→→→→ 高低差が激しく折り返しもあり、高学年コースは、なかなか本格的だ。そして、好勝負は続く。



5年生の戦いは、昨年同様に最後のトラック勝負にまでもつれ込む。先頭は Chi さん、5m離れて Sou さんの二人。

そして、もう一つの影は、Chi さんを応援する母の姿。最終コーナーを超えて20m、いや30mにわたる母の並走。

師弟愛では及ばぬ「絆・親子愛」は、背を押す最後の一押しにとしては最強だ。

結果は、最大20mあった差を着実に詰めた Sou さんに2秒差で軍配が挙がる。2年生時に彼らを担任した福田先生によれば、『最後の最後にまで勝負がもつれる展開は、昔からずっと同じ』とのこと。そして Sou さんは5連覇達成。



Rai さんと Hib さんを交えた4人の戦いは、来年いよいよ最終章。1年間正しく鍛えた心の強さで、勝負は決する。